

令和5年第4回木津川市議会定例会

請　願　文　書　　表

受理番号	受理年月日	件　　名	請願の要旨	請願者の住所及び氏名	紹介議員 氏　名	付　託 委員会
5-2	令和5年 11月20日	現行の障害者福祉タクシー利用券のガソリン代への用途拡充を求める請願書	<p>1 請願の趣旨</p> <p>現在、木津川市には外出困難な重度障がいのある人に対する移動支援として、タクシー料金の一部を助成する「障害者福祉タクシー利用券交付制度」があります。この制度は、交付対象者が毎年申請をすることで年間12,000円分を上限に金券として交付されるものです。障がい児・者の社会活動を支援し、一人ひとりが大切にされる福祉社会を実現するうえでこの制度は非常に有意義です。</p> <p>しかし、この制度は十分に活用されているとは言いたい現実があります。この交付制度の対象となるのは令和4年度において1,095名ですが、申請手続きを行って利用券が交付された人は全体の53%に当たる585名であり、47%は申請すらしていません。そして利用券の使用実績は総額3,362,400円となっており、利用率はわずか25%にとどまっています。</p> <p>障がい児・者を抱える家族の現実とは、病院や訓練施設等に定期的に通う等、必要に迫られて家族が自家用車での送迎をする生活です。また、本人の特性などからも自家用車でなければ移動が困難なケースも多くあります。タクシーにはすぐに利用できるとは限らない不自由さがあるうえに利用料金も高額になりがちで、日常的な利用は現実的ではありません。</p> <p>以上の理由から、障がい児・者の移動支援として自家用車のガソリン代への補助金交付制度の導入を要望します。現行の福祉タクシー利用券をガソリン代としても利用できるように制度を拡充して下さい。</p> <p>これが実現すれば、多くの障がい児・者にとって利用しやすい支援制度として活用され、その社会活動をいっそう後押しする実りある制度となるはずです。</p> <p>よって以下のことを請願します。</p>	<p>福祉タクシー利用券の用途拡充を求める有志の会</p> <p>木津川市兜台 安藤 早苗 木津川市南加茂台 来住 育子 木津川市加茂町駅東 松原 雅子</p>	<p>高岡伸行 森本隆 倉克伊 大角久典 宮嶋良造 谷川光男 山本しほ 谷口英子 草水基成</p>	厚生 常任委員会

		<p>2 請願事項</p> <p>障がい児・者の社会活動を支援し、一人ひとりが大切にされる福祉社会を実現するために、現行の福祉タクシー利用券をガソリン代にも使用できるように制度を拡充すること。</p>		
--	--	--	--	--

令和5年第4回木津川市議会定例会

請　願　文　書　表

受理番号	受理年月日	件　　名	請願の要旨	請願者の住所及び氏名	紹介議員 氏　名	付　託 委員会
5-3-1	令和5年 11月20日	木津川市のすべての子どもたちにゆきとどいた教育条件と子育て環境を求める請願	<p>1 請願の趣旨</p> <p>長引く物価高騰は多くの子育て世帯の家計を直撃しています。保護者が支払う教育費の中で給食費は負担が重くなっています。そんな家庭の状況を受けて、全国の市町村では給食費の無償が大きく広がっています。木津川市でも保護者の経済的負担を軽減するため、給食費の無償化を進めてください。</p> <p>現在、学校における教員不足と先生たちの長時間過密労働が大きな問題になっています。子どもたちの命と健康を守り、学びを保障していくためには少人数学級のさらなる前進とともに、教職員の増員、養護教諭の配置拡充が必要です。教職員定数を抜本的に増やすよう国に強く求めてください。</p> <p>国の配置基準では、保育士が1人で見る園児数は、0歳児は3人、1~2歳児は6人、3歳児は20人、4歳児以上は30人となっています。子どもたちをとりまく環境は大きく変わっています。4~5歳児に対する保育士の配置基準は75年も変わっていません。園児たちの健やかな成長と安全確保のためには保育士の増員など一刻も早い改善が必要です。</p> <p>子どもたちの放課後の安全を守り、友達や指導員から様々なことを学ぶ場である放課後児童クラブのニーズが高まっています。さまざまな問題が起こった時にすぐその場で対処できるようにしてください。</p> <p>すべての子どもたちが安心して学ぶことができ、ゆきとどいた教育を受けることができる学校や保育園、放課後児童クラブの条件整備を裏面のように請願します。</p>	木津川市いきいき子育てネットワーク 木津川市加茂町美浪 代表 田中 道子 木津川市鹿背山 柯 千絵 木津川市南加茂台 小森 洋子 木津川市兜台 山崎 洋介 木津川市木津町 花田 善臣 宮嶋 良造 山本しのぶ 谷口 英子		総務文教 常任委員会 【請願項目】 ①. ②
5-3-2						厚生 常任委員会 【請願項目】 ③. ④

2 請願項目

- ① 保護者の経済的負担を軽減するため、学校給食費の無償化を実現してください。
- ② 学校における教員不足と長時間過密労働の解消、子どもの学習権保障のためにも、教職員定数を抜本的に増やすよう国に働きかけてください。また、市独自にも教員配置の努力を続けてください。
- ③ 子どもたちの健やかな成長と安全確保のためにも、保育士の配置基準の引き上げを国に求めてください。
- ④ 放課後児童クラブに正規職員を配置してください。